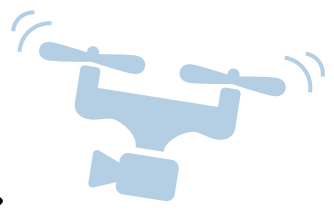
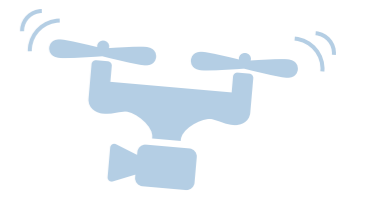


初めて見るいつもの景色 今日、もう一度 沼津に恋をする。



ここがどこかわかりますか？
答えは5ページへ！



ドローンを活用した広報活動に取り組んでいる、広報課シティプロモーション係の芦川諒太副主任に、取組への想いや撮影の際に意識していることなどを聞きました。

沼津の新たな一面に 気づいてもらいたくて

「空からまちを見下ろす映像を見てみると鳥になった気分です(笑)」と話す芦川さんは自身の撮影した動画を編集しながら笑顔を見せます。

本格的にドローンをシティプロモーションに活用し始めたのは一年半前。



「納得のいく撮影をするためにドローンの撮影は事前準備がかなり重要であり、加えて当日の天候も良好である必要が

納得のいく撮影をするために

「今までとは違う新たなシティプロモーションの方法を模索するなかで、普段見ることのできない上空からの動画や写真は、より多くの人に興味や関心を持っていただけるのではと思いましたが」と話します。

現在、主に動画制作に力を入れており、まちの様子やその季節ならではの風景などを撮影しています。動画と合わせて写真も撮影しており、「コソコソと撮り重ねて、今は450点以上の動画などを市ホームページ内の「沼津市フォト&ムービーギャラリー」にアップしてあります。最近ではテレビ番組を中心に様々な場面で活用していただいているんですよ。みなさんにも気軽に利用していただきたいです」と嬉しそうに話してくれました。

空を飛んで、地元を見る

ドローンとは、遠隔操作や自動操縦によって飛行可能な無人航空機のことです。当初海外で軍事目的に開発されたもので、現在、ドローンは農薬散布や物品の輸送、災害時における活用、自治体によるシティプロモーション(地域活性化のための活動)など、様々な分野で一般での利用が進んでおり、日本国内でも身近になりつつあります。

本市では、令和3年からドローンを積極的にシティプロモーションに活用しています。市内各地域を動画・写真で撮影し、新しい視点から沼津市の魅力を発信したり、まちの映像を資産として後世に残すことで、市内外を問わず、より多くの人に沼津を愛していただくたいと考えています。

今回の特集では、本市のドローンを活用したシティプロモーションに加え、みなさんに一度は見てもらいたい上空からの沼津の風景をご紹介します。

「現在使用しているドローンを飛ばすには毎回国土交通省などの許可が必要です。飛行シミュレーションは入念に行います。また、当雨が降っていると飛ばせないのももちろんですが、風が強い日や、気温によっては機体に大きな負荷がかかってしまうので特に注意が必要なんです」と話す芦川さん。

一つの素材を撮るために何度もロケ地に足を運ぶこともあるそうですが、「みなさんに地元の魅力を届けられるのなら」とアツい気持ちを見せてくれました。

また「今後も市民のみなさんからの意見を反映させながら「共に創るシティプロモーション」を心掛けて魅力を発信していきたいです」と、目標も語ってくれました。



広報課シティプロモーション係
芦川諒太副主任